

第2子である息子を、中2の夏（2015年7月）から1年間、フランス語圏にあるレザンアメリカンスクール（全寮制）に留学させました。これからの日本を支えてくれる若者へのエールを込めてスイス留学のススメを記します。

語学学習だけなら、インターネットによって自宅から簡単に世界と繋がれるようになった現代に、何故留学か？そして何故スイスか？

- 1) SNS やバーチャル体験では得られない、実体験から来る本質的な人生学習が、親元を離れることで印象深くモノにでき、そこから何かを始められるから。

十分に成熟していない我が子を留学させる心配よりも、母国日本を離れて見る日本、親元を離れて知る親の愛を、早く知ってもらい、自ら考え行動を起こして欲しいと願いました。日本人の勤勉さ、義理堅さ、道德観。日本食・日本文化の素晴らしさ。先進国日本の英語力の低さ、恐ろしい早さで進行するグローバル化から隔絶された社会で暮らす井の中の蛙感覚。地方都市での不統一な景観。問題点を知って、日本人として自分に何が出来るか、その為には何を努力すれば良いのか。自ら考えて行動出来る若者が一人でも多く増えて欲しいです。帰国後は、日本人として不足した国語力、思いやり、仲間を作るべき、まだまだ躰の最中ですが。柔軟な若者に目標を持たせることで早くから準備し、若い頃の失敗はやり直せることも、体感して欲しいです。

- 2) 治安に不安な今の国際社会で、安心して我が子を第三者に預けられるのは永世中立国であるスイスだから。

EU 非加盟国が故の物価や教育費の高さは否めません。しかし故に、そこで働き暮らす人はプライドを持って暮らし、仕事をしていると感じました。教育者が収入や労働環境で満たされていないと、責任と誠意を持った本質的な教育は出来ない。レザンアメリカンスクールでは生徒7人に指導者1人の少人数制なので、ただ知識を教えるだけの一方通行教育ではない自発的グループ相互学習がありました。安心とレベルを求めると必然的に経費はかかりますが、身につけ

た教育は盗られないし、将来、大きな幸せを生み出すと思います。

3) 皆が留学生という環境が、国際人育成には最適。スイスにはその教育システムが長年かけて既に確立されているから。

第1子の娘を、高1の夏から1年間、イギリスの私立学校（通学者と寮生が半々）に留学させました。有意義な留學生活だったようですが、留学生の少ない学校での生活は、イギリス社会で暮らす生徒に馴染む、というスタイルになります。綺麗な英語を身につけましたが、学校生活ではやはりよそ者感が否めませんし、学習面でもやや物足りなかった様です。スイスでは、留学生が学校生活を形成するため、国際学校の一人、として活躍出来ます。息子を留学させたレザンアメリカンスクールには、その名の通りアメリカ人が多いのですが、世界60カ国以上の国々からの生徒が集まっていました。ESL(English as a second language)サポートや、IBを取得してスイスから世界に羽ばたこうとする生徒と学校の教育レベルの高さも魅力でした。勿論、留学生を送り出す世界各国の保護者へのケア（学校成績や出席状況の管理システム（保護者がいつでもアクセス可能）、メール連絡、担当者の日本での保護者会など）も高度にシステム化されていて安心出来ました。息子からの連絡は少なく、学校のFacebookにわずかに写った息子の写真で生存確認していましたが（笑）。

実際に留学させてみて、良かった点

1) 自分の特徴を「英語ができる」と考えて自信を持ち、そこから何をするか、自ら考えて行動する様になりました。

例えば帰国後、模擬国連に出場したいと、ESSに入部したり、ディベート大会の見学に行ったりしていました。海外大学進学も視野に、自ら説明会に行き、まずはTOEFLの勉強を始めました。来春にはまずは日本でオープンキャンパスや卒業生との交流会に行き、自分の進路を検討するようです。息子は1年という短期留学でしたが、日本人を含め殆どの留学生はそのまま進学・卒業するようで、色々な選択肢があると思いました。帰国後の日本での学習の遅れは、勉強は結局自分の努力次第なのだ、という事を体感してくれていれば、取り戻せます。

2) 親の有り難み、日本や食事の良さも痛感してくれた様です。

母親に優しく、父親を見習うようになりました（笑）。

3) コミュニケーションの大切さを実感した様です。

自分の気持ちが英語で上手く伝えられず、正しいと思う事を押し通せなかった経験から、伝えるだけが全てではない、と思うようになった様です。例えば食事。自分は不味いと思っけていても、美味しいと思う人もいるのだから、むやみに口にしないそうです。一方でコミュニケーションの大切さを実感し、帰国後、オチのある面白い話で人を引きつける会話をするように、常に考えているそうです。

近藤さんのサポートには心がありました。

ちなみに・・・スイスジャパンサポートの近藤さんには大変感謝しています。留学サポートサイトや会社は沢山あり、もっと手広く事業展開されている所もあるでしょう。私が近藤さんを選んだのは、過度でない事業展開にピンと来るものが合ったからです。色々な選択肢があっても、結局は一つの学校にしか行けません。本人も保護者もサポート者も唯一の人ですから、あれこれよりも大切な事をシンプルにやってくれる方が良い。いつも温かく適格なメール連絡を下さる近藤さんのサポートには心がありました。中3からの留学を検討していた私に、中2からの早めの留学を進めて下さった事にも、大変感謝しています。

良い事ばかりでは無いでしょうし、これらの良かった点がどう結実するのか、今後の本人の努力次第です。しかし、私達の経験が、スイス留学を考えている方々の背中を押すエールになれば幸いです。一人でも多くの日本の若者が、国際人になってこれからの日本を支えてくれる様、心から祈っています。

(2016年8月記載)